

# てついく

～まちを知れば まちが好きになる～

《詳細》企画課 ☎25-2181

Message

室蘭に生まれ  
室蘭で育つ  
子どもたちへ

まちを支える「てついく」

室蘭は100年以上にわたって、港を中心に製鉄、製鋼など「ものづくりのまち」として発展してきました。

「うちのお父さん、お母さんは工場で働いているよ」という家庭も多いのではないでしょう。しかし、子どもたち、さらには若い親世代からも「室蘭は、鉄のまち」ものづくりのまち」と聞くけれど、実感がない」という声が聞かれることも多いのです。

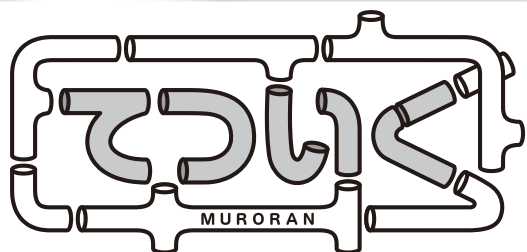
将来のまちを支えるためには、室蘭に生まれ育つ子ども

たちに「室蘭で働きたい」「住み続けたい」という思いを持ってもらうことが大切です。

市では、幼いころから「ものづくり」に親しめる機会を提供し、地域の産業やものづくりへの関心を育み、まちに愛着を持つってもらう取り組みを「てついく（鉄育）」と位置付け、行政、企業、市民団体、大学など連携し、さまざまな事業を進めています。



「てついく」のロゴが  
できました!



市内在住のデザイナー須藤大介さん（ノールドデザイン代表）が、室蘭発の「てついく」の取り組みを、市内外に広く周知されるようPRロゴを作成しました。

「てついく」の目的に沿った事業であればロゴを無償で利用できます。企業や市民団体などで利用を希望する場合は、NPO法人テツプロ・三木（☎090-7519-9237）または市・企画課（☎25-2181）までご連絡ください。

# 『てついく』の3本柱

## 学校における『てついく』

**授業でも子どもたちに、  
ものづくり企業を知ってもらおう！**

市内には、ものづくり体験の機会を提供してくれる大学などの教育機関やNPO法人、市民活動団体が多くあります。



また、小中学校の授業として見学などを受け入れてくれる企業もあります。



株式会社橋崎製作所  
常務取締役  
五十嵐 啓 さん

子どもたちには「てついく」を通して、市内の企業を知ってもらい、その上で将来の進路を選択してほしいです。工場見学では、子どもたちに興味を持ってもらうために、高所作業車から見学を行うなどの工夫もしています。「この会社で働きたい」と思ってもらえるよう、企業自体のイメージアップを図りながら、利益を上げて地域に貢献していきたいと思っています。

## イベントによる『てついく』

**子どもはもちろん、  
保護者も一緒に楽しむ！**

産学官民が連携しながら、子どもだけでなく、保護者も一緒に参加できるものづくり体験イベントを企画・実施しています。特に、夏休み期間中は、工場見学とものづくり体験をセットにしたバスツアー（室蘭市主催）、鉄製のマグネットを作れるものづくりの工房（NPO法人テツプロ主催）、キースタンドなどを作れる体験教室（室蘭高等技術専門学院主催）など、市内で多くのものづくりイベントが開催されました。



北海道立  
室蘭高等技術専門学院  
学院長  
加納 信義 さん

室蘭は、古くから工業地域として発展してきた、道内有数のものづくりのまちです。このまちで育った子どもたちには、ものづくりの環境が身近にあります。イベントを通じ、自分の手でものを作り上げる楽しさや達成感を味わうことは、自信となり、ものづくりに対する興味へとつながるはずです。そんな思いを多くの子どもたちが共有出来る体験会に、ぜひ一度参加してみてください。

## 『てついく』の拠点づくり

**ここに行けば、  
ものづくり体験ができる！**

「室蘭工業大学ものづくり基盤センター」や、7月にオープンした「輪西八条アトリエ」など、ものづくりの体験や歴史などを学ぶことができる施設を「てついくの拠点」と位置付けています。

平成32年度に完成予定の環境科学館も、より多くの「てついく」を提供できる施設整備に向けて検討を進めています。



輪西八条アトリエ  
須藤 大介 さん

ものづくりの面白さは、オリジナルのものが作れるところ。一つ一つの作品に作った人の個性や表情が出てきます。八条アトリエでは、やり方は教えますが、作る形はおまかせしています。失敗はないので、思い切りよく作品作りを楽しめます。今後は、皆さんがふらっと気軽に立ち寄って、ものづくりを楽しめるように、体験メニューを増やしていきたいです。

「てついく」の詳細は、市ホームページに掲載しています。

HP <http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2200/tetsuiku.html>